

第1章 配慮市長意見書等を総合的に検討して計画段階配慮書の内容を変更した事項

令和4年7月に提出した計画段階配慮書（以下、「配慮書」といいます）に対する配慮市長意見書等を総合的に検討し、配慮書の内容を変更した事項は、表 1.1(1)～(2)に示すとおりです。

表 1.1(1) 配慮書の内容を変更した事項

配慮書の項目	配慮書からの変更点	方法書での記載概要	方法書 該当ページ
全般		配慮書の提出以降、既存資料が更新されたものについては、最新の情報としました。	-
事業計画 の概要	対象事業実施区域	カミオ3階と計画建築物3階を結ぶ連絡橋を設ける計画に変更したため、対象事業実施区域の範囲を拡大しました。	p.13 ほか
	対象事業の計画概要	事業の進捗に伴い、建築物の高さ及び延べ面積を変更しました。 建築物の高さ：約 140m → 約 170m 延べ面積：約 64,750 m ² → 約 79,230 m ²	p.3 ほか
	対象事業の目的	横浜市の「都市再開発の方針」の改正に合わせた内容に更新しました。	p.6
	対象事業の概要	事業の進捗に伴い、計画容積率、建ぺい率、建築物の高さ、延べ面積、階数、工事予定期間及び供用予定時期等を変更しました。	p.11
	施設配置計画	完成イメージ図を追加しました。	p.12
		事業の進捗に伴い、高層部の建築物の高さ・向き及び屋上庭園の位置等を変更しました。また、それに伴い、施設配置図及び施設断面図を修正しました。なお、屋上緑化は屋上庭園に含まれるものとししました。	p.12～15
	交通計画	供用後に想定される関連車両の発生集中交通量を加筆しました。	p.16
	駐車場計画	駐車場の用途と配置場所を変更しました。併せて、施設配置図及び主な関連車両走行ルート図を更新しました。	p.13～17
		駐車場の予定整備台数及び電気自動車の充電設備に関する現時点での方針を加筆しました。	p.16
	自動二輪・自転車駐車場計画	自動二輪・自転車駐車場の予定整備台数及びシェアサイクルの設置に関する現時点での方針を加筆しました。	p.18
	歩行者動線計画	事業の進捗に伴い歩行者動線を更新するとともに、各階の歩行者の主な歩行ルート図及び立体広場のイメージを追加しました。	p.18～20
	熱源計画	都市ガスの使用用途及び非常用発電機の整備予定について加筆しました。	p.18
	給排水・供給施設計画	低炭素電気に関する現時点での方針を記載しました。	p.21
	防災等に関する計画	「一時滞在場所」を「帰宅困難者一時滞在施設」に訂正するとともに、具体位置について加筆しました。また、雨水貯留施設を設ける旨を加筆しました。	p.21
	地球温暖化対策	新たに「地球温暖化対策」の項を起こし、配慮書の省エネルギー計画、「建築環境総合性能評価システム」の活用を本項に統合、更新したほか、ヒートアイランド現象の抑制計画を加筆しました。	p.22
		「建築環境総合性能評価システム（CASBEE）」ではなく、「横浜市建築物環境配慮制度（CASBEE 横浜）」を活用することとしました。	p.23
	生物多様性の保全	新たに「生物多様性の保全」の項を起こし、現時点での方針等を加筆しました。	p.23

表 1.1(2) 配慮書の内容を変更した事項

配慮書の項目	配慮書からの変更点	方法書での記載概要	方法書 該当ページ
事業計画 の概要	緑の保全と創造	新たに「緑の保全と創造」の項を起し、現時点での緑化方針を加筆しました。	p.24
		緑化地域制度に基づく緑化率の最低限度及び本事業で確保する建築敷地内の緑化面積を加筆しました。	p.24
	施工計画	「施工計画」の項に現時点での工事概要、工事工程表、工事用車両ルート、工事時間帯を加筆しました。また、各種配慮事項を更新しました。	p.25～29
地域の概況 及び地域特性	地形、地質、地盤の状況	対象事業実施区域周辺の既存ボーリング調査結果を記載しました。	p.35,38
	土地利用の状況	調査区域内の風致地区について記載しました。	p.56,57
	土壌汚染の状況	隣接事業（上大岡C南地区）の事後調査結果を加筆しました。	p.93,95
	地盤沈下の状況	港南区内かつ調査区域内の水準測量地点を記載しました。	p.95,97
	災害の状況	浸水のおそれのある区域に関して、高潮ハザードマップの情報を掲載しました。	p.106,109
配慮指針に 基づいて行った 配慮の内容	全般	環境情報提供書及び配慮市長意見書を踏まえ、配慮の内容を更新しました。	p.125～139